

アブラムシ類の天敵製剤

コレトップ Cole-Top

コレマンアブラバチ剤



アブラムシ類にはコレが効く!



商品詳細

※出荷方法および仕様は予告なく変更する場合があります。

商品名：コレトップ

種類名：コレマンアブラバチ剤

製品規格：250頭/100mlボトル

学名：*Aphidius colemani*

(農林水産省登録第 20885 号)

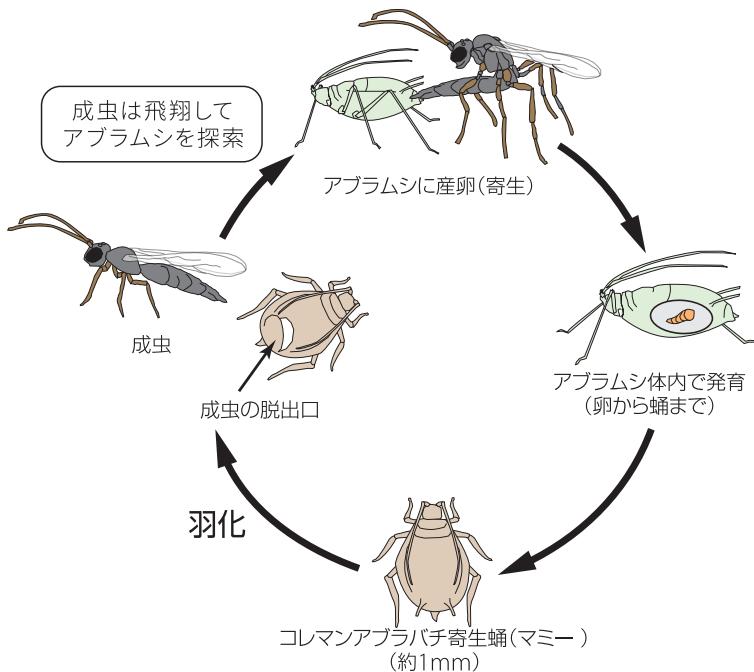


株式会社 アグリセクト
www.agrisect.com

■虫を知る 害虫とその天敵の生活サイクルを知り

天敵生物コレマンアブラバチの生態

コレマンアブラバチのライフサイクル



コレマンアブラバチがアブラムシに寄生



コレマンアブラバチの寄生蛹(マミー)



分布	ユーラシア南部、アフリカ、オーストラリア、南米
体長	雌成虫 約1.7~2.2mm
体色	黒色
雌雄性比	雌:雄 = 2:1
ライフサイクル	卵→幼虫(1~4齢)→蛹→成虫 ※卵から蛹まではアブラムシの体内で発育する。寄生(産卵)活動を行うのは雌成虫。
活動適温	20~25°C
発育期間(卵~成虫)	約10日(25°C環境下)
寄生対象	ヒゲナガアブラムシなどの大型のアブラムシには寄生できないが、多種のアブラムシに寄生(産卵)する。有翅アブラムシにも寄生できる。
総産卵数	約300個(20°C)

ましょー。



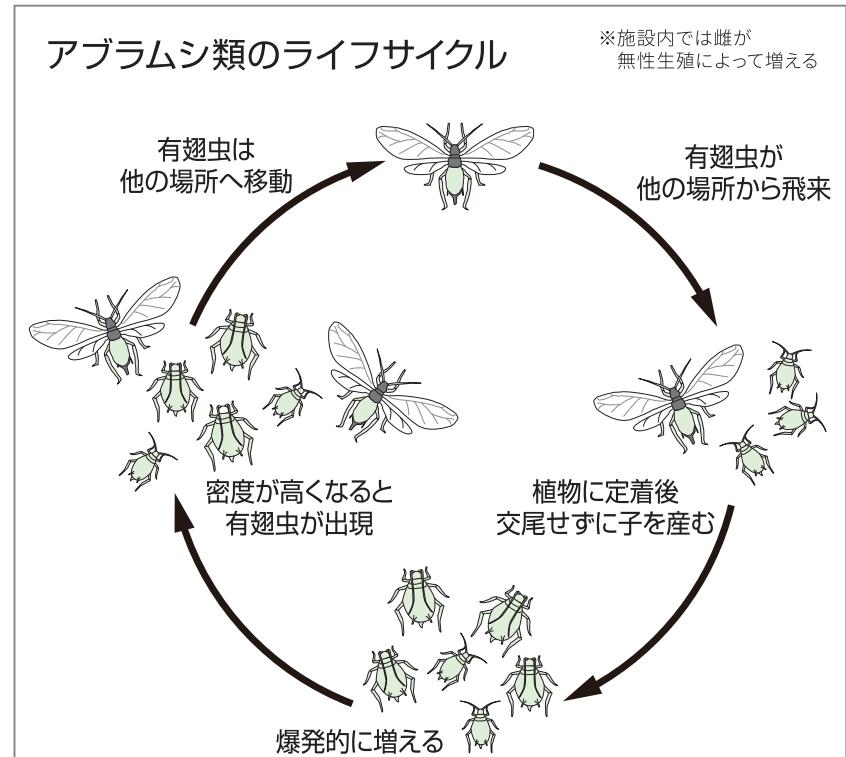
害虫アブラムシの生態



モモアカアブラムシ



ワタアブラムシ



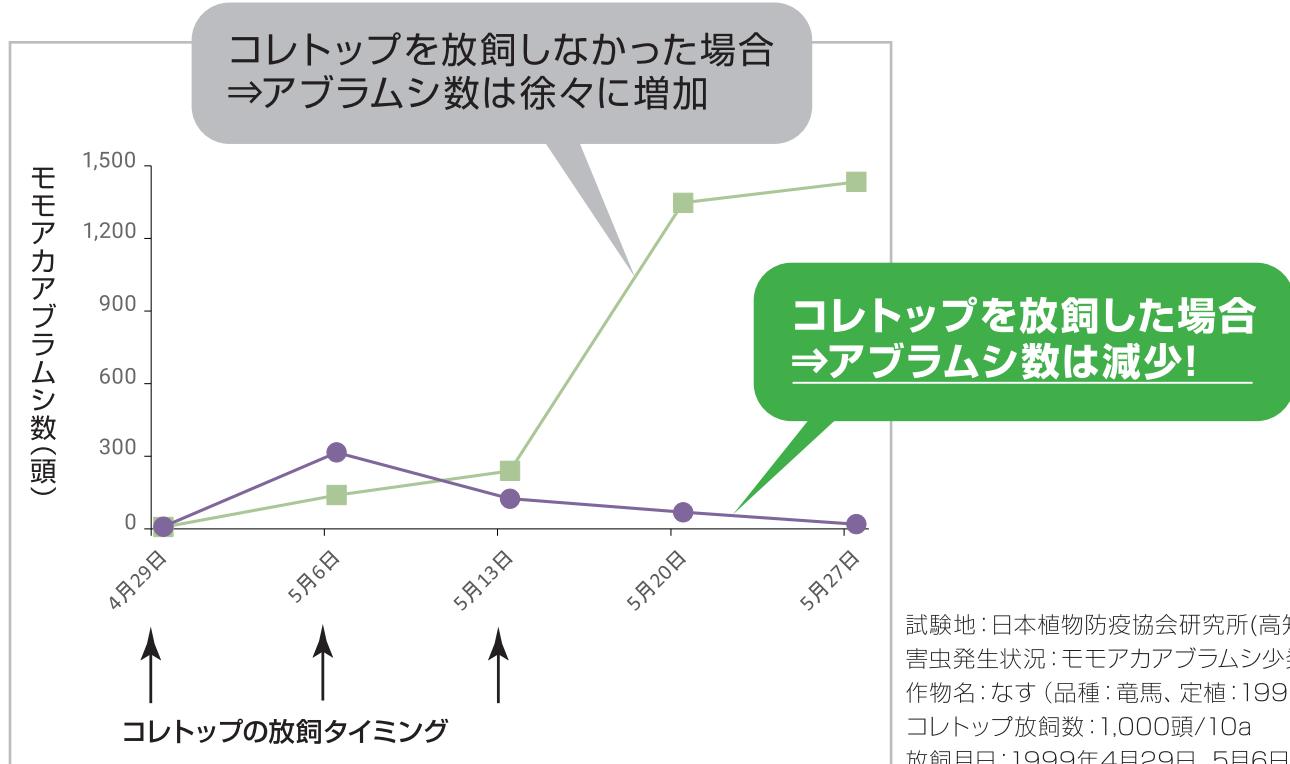
アブラムシによる被害（甘露によるすす病）



ア布拉ムシによる被害（収穫物の汚れ）

体長	無翅胎生雌虫 約1.8mm~2mm (モモアカアブラムシ)
ライフサイクル	無性生殖の場合：幼虫を産下 → (4回脱皮) → 成虫 ※幼虫および成虫が植物を加害する。
発育期間（産下～成虫）	約7日 (20°C環境下) ※発育が早く、増殖しやすい
増殖方法	施設内では雌が無性生殖によって増える。
雌一頭あたりの生涯産子数	約90頭 (20°C環境下)
被害	植物の葉裏などに寄生して吸汁し、余分な糖分を排出する。 この排出された糖分を甘露といい、甘露にカビが生えて“すす病”になる。 また、植物ウイルスを媒介する場合もある。

コレトップのアブラムシ類に対する防除効果



コレトップについて

コレトップは、アブラムシ類の寄生性天敵であるコレマンアブラバチをボトルに封入した製剤です^{※1}。羽化したコレマンアブラバチは常にアブラムシを探して飛び回り寄生する^{※2}ことで、被害の増加を抑制します。

※1 コレマンアブラバチの寄生蛹(マミー)を封入した製剤です。

※2 ヒゲナガアブラムシ類には寄生できません。



有効成分の種類：コレマンアブラバチ羽化成虫

含有量：250頭*/100mlボトル

その他の成分：植物油

※コレマンアブラバチ成虫が、
1ボトルあたり確実に250頭羽化するように調整しています。

農林水産省登録第20885号

適用表

作物名	適用病害虫名	使用量
野菜類 (施設栽培)	アブラムシ類	4~8ボトル/10a (1,000~2,000頭)

2020.05

コレトップの導入タイミング

アブラムシの発生に注意し、発生が確認されたら導入します。

発生が確認できた箇所には目印を付けておき、コレトップを重点的に放飼しましょう。

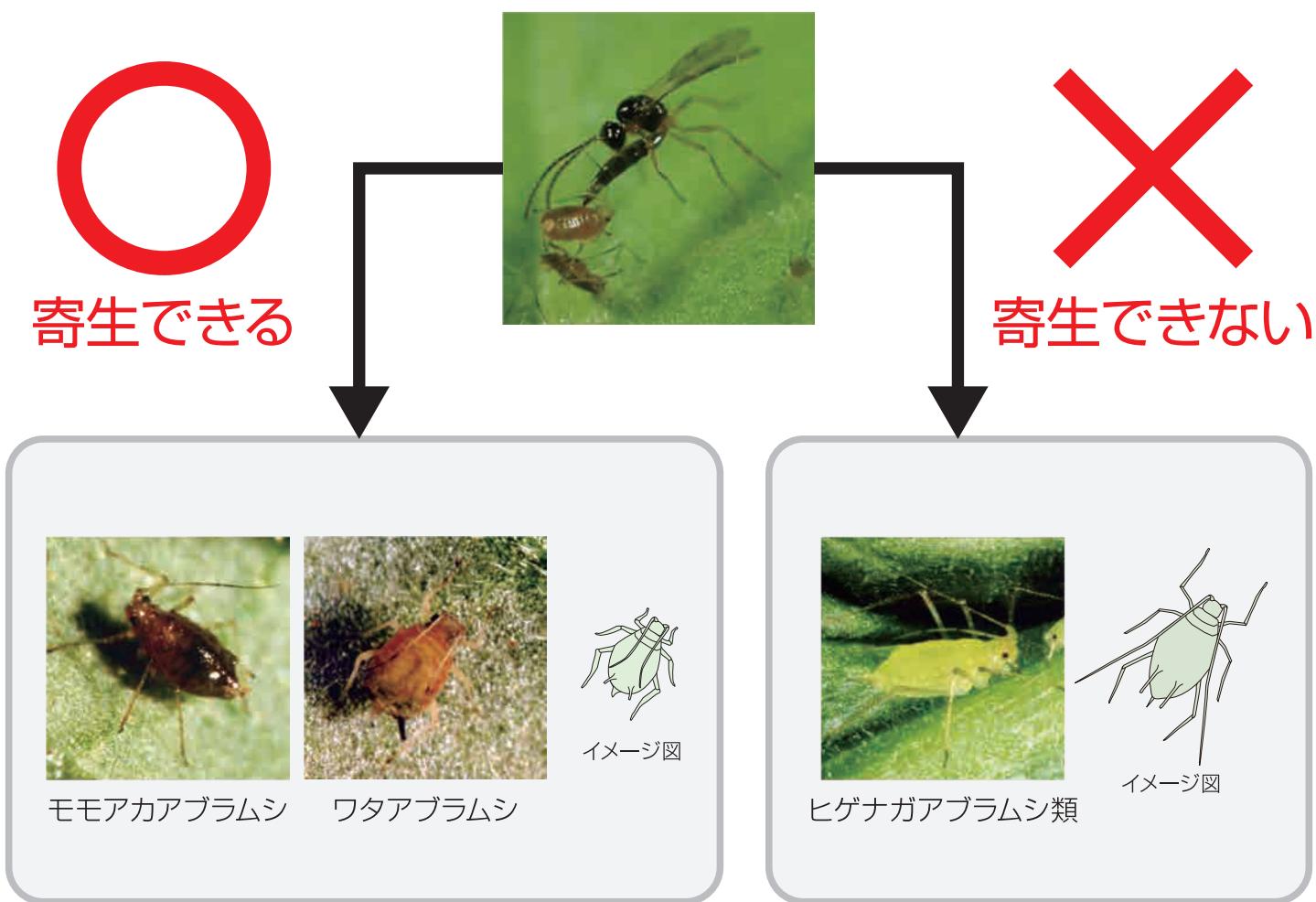
※アブラムシが多発している場合は、コレマンアブラバチに対して影響の少ない農薬を散布し、できるだけアブラムシの密度を下げてから放飼してください。

⇒本書の [アブラムシ防除でコレトップと併用できる農薬](#) をご参照ください。

10aあたりのコレトップ導入基準：8本（1,000～2,000頭）/10a

導入前の注意点

- コレマンアブラバチはヒゲナガアブラムシ類には寄生できません。
発生しているアブラムシの種類をよく確認しましょう。



- これまで使用した農薬がコレマンアブラバチに影響しないか確認しましょう。

⇒本書の [コレマンアブラバチに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について](#) をご参照ください。

コレトップの導入手順



⇒コレトップの放飼方法を動画で確認できます。

① 天敵が届いたら

輸送用箱からボトルを取り出し、ゆっくり常温に戻します。



注意!

コレトップの到着後は、当日に全て放飼し、使い切ってください。

万一放飼が翌日になる場合は、容器を新聞紙に包んで乾燥を防ぎ、冷蔵庫の野菜室で保管してください。

② 内容物を確認する

コレトップのボトルを開封し、内容物を確認します。

※コレマンアブラバチ成虫が、1ボトル当たり250頭羽化するように調整しています。



③ 天敵放飼

ハウス内のアブラムシが発生している箇所付近の株元にボトルごと静置します。

直射日光の当たらない、水がかからない場所に置いてください。



④ その後の確認方法

コレトップの導入から約3週間後に、コレマンアブラバチの寄生蛹（マミー）が確認できるようになります。



コレマンアブラバチの寄生蛹(マミー)



葉裏に大量のマミーを確認

コレマンアブラバチに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について

- 表中の数字は残効日数を表します。天敵の放飼は残効期間（「日数」×24時間）以上の期間を経てから行ってください。
- 「0」は農薬散布当日を表しますが、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がありますので注意してください。
- 「影響ない」「ほとんど影響ない」と表示されている農薬でも、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がありますので注意してください。

【殺虫剤・殺ダニ剤】

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度	農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
アカリタッチ乳剤	乾燥後影響ない	チェス顆粒水和剤/水和剤	0
アタブロン乳剤	0	ディアナSC	成虫の死亡率高い
アドマイヤー1粒剤	0	トランスフォームフロアブル	マミー・成虫の死亡率高い
アドマイヤー顆粒水和剤/水和剤/フロアブル	マミー・成虫の死亡率高い	トリガード液剤	マミー・成虫に影響ない
アニキ乳剤	0	粘着くん液剤	乾燥後影響ない
アファーム乳剤	7	ピラニカEW	成虫の死亡率高い
アプロード水和剤	0	ファインセーブフロアブル	成虫の死亡率高い
アルバリン顆粒水溶剤/粒剤	長期間残効する可能性あり	フーモン	乾燥後影響ない
ウララDF	0	プリファード水和剤	ほとんど影響ない
エコピタ液剤	乾燥後影響ない	プリロッソ粒剤	ほとんど影響ない
カスケード乳剤	成虫に影響ない	プレオフロアブル	ほとんど影響ない
クリアザールフロアブル	成虫に影響ない	プレバソンフロアブル5	ほとんど影響ない
グレーシア乳剤	長期間残効する可能性あり	ベネビアOD	ほとんど影響ない
コロマイト乳剤	1	ベリマークSC	ほとんど影響ない
サフォイル乳剤	乾燥後影響ない	ボタニガードES	乾燥後影響ない
サンクリスタル乳剤	乾燥後影響ない	マイトコーネフロアブル	ほとんど影響ない
サンマイトフロアブル	成虫の死亡率高い	マッチ乳剤	成虫に影響ない
スタークル顆粒水溶剤/粒剤	長期間残効する可能性あり	マブリック水和剤20	成虫に影響ある
スターマイトフロアブル	成虫にほとんど影響ない	ミネクトデュオ粒剤	7
スピノエース顆粒水和剤	成虫の死亡率高い	ムシラップ	乾燥後影響ない
スプラサイド水和剤	マミー・成虫の死亡率高い	モスピラン顆粒水溶剤/水溶剤	成虫に影響ない
ダニサラバフロアブル	1	モベントフロアブル	ほとんど影響ない

- ・表中の残効期間や影響の程度は目安です。農薬散布時の環境(展着剤、温度、天候、紫外線量、換気条件など)によって変化するのでご注意ください。
- ・本表は現場情報に基づく弊社の知見をもとに作成しました。
- 詳細は各農薬メーカーにお問い合わせください(農薬ラベルをご確認ください)。



弊社HPからも
ご確認いただけます。

【殺菌剤】

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
アミスター20フロアブル	成虫に影響ない
アミスター オプティフロアブル	成虫に影響ない
イオウフロアブル	マミー・成虫に影響ある
オーソサイド水和剤80	成虫に影響ない
サンヨール	0
ジマンダイセン水和剤	0
ショウチノスケフロアブル	1
ストロビーフロアブル	マミー・成虫に影響ない

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
ダコニール1000	0
トップジンM水和剤	マミー・成虫に影響ない
トリフミン水和剤	0
パルミノ	マミー・成虫に影響ない
パンチョTF顆粒水和剤	ほとんど影響ない
ピクシオDF	ほとんど影響ない
モレスタン水和剤	マミー・成虫に影響ない

アブラムシ防除でコレトップと併用できる農薬

※コレトップの導入前後に散布してもコレマンアブラバチに対して影響の少ない農薬を抜粋しています。

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
アドマイヤー1粒剤	0
ウララDF	0
チエス顆粒水和剤/水和剤	0
プリファード水和剤	ほとんど影響ない

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
プリロッソ粒剤	ほとんど影響ない
ベネビアOD	ほとんど影響ない
ベリマークSC	ほとんど影響ない
モベントフロアブル	ほとんど影響ない